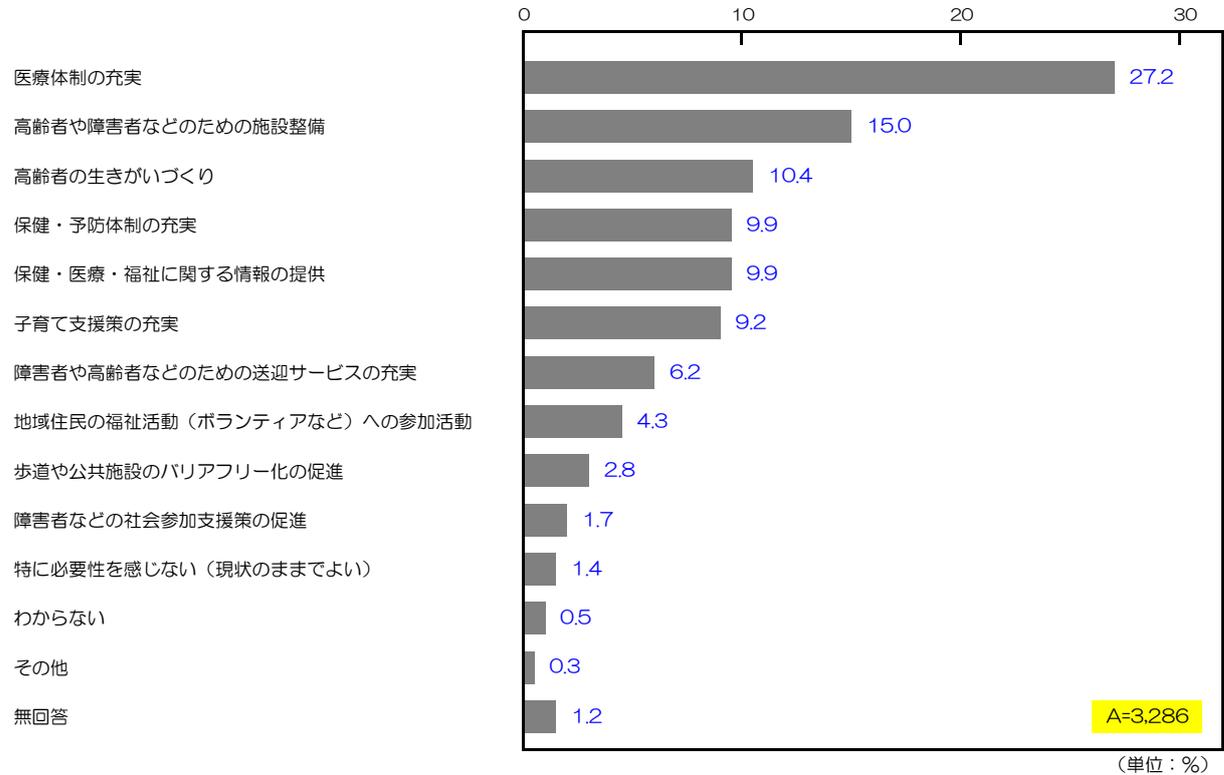


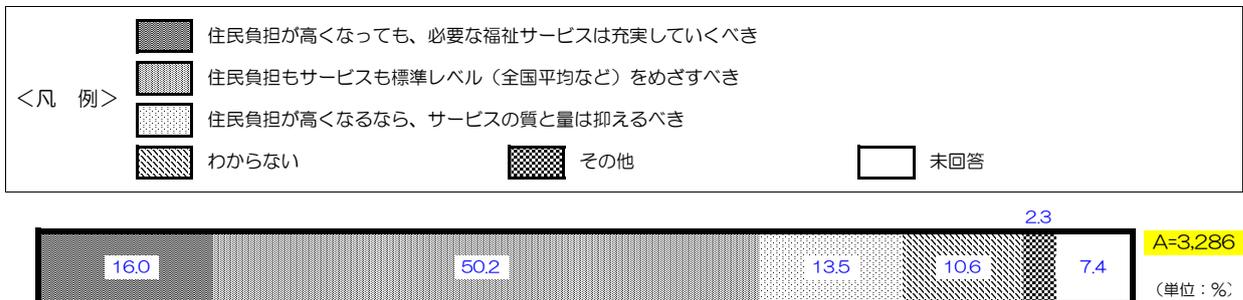
第6章 保健・医療・福祉について

問9 あなたは、今後「保健・医療・福祉の充実」を図るために、何が重要だと思われますか。
※複数回答可（3つ以内）



保健・医療・福祉の充実を図るための重要施策では、「医療体制の充実」（27.2%）と約3分の1を占め第1位、次いで「高齢者や障害者などのための施設整備」（15.0%）、「高齢者の生きがいづくり」（10.4%）、「保健・予防体制の充実」（9.9%）、「保健・医療・福祉に関する情報の提供」（9.9%）の順となっており、高齢化社会に対応した“医療、保健・福祉”の施策を望む回答が上位を占めている。
男女別・年齢別・職業別・居住地別の全区分でも「医療体制の充実」が重要と答えた方が圧倒的に多い結果となっており、現在の医療体制に不安を感じている方が多いと考えられる。

問10 介護サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料などを財源として運営されています。あなたは、こうした福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。



福祉サービスと住民負担のあり方では、「住民負担もサービスも標準レベル（全国平均など）をめざすべき」（50.2%）と全体の半数を占め、次いで「住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき」（16.0%）、「住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき」（13.5%）であり、男女別・年齢別・職業別・居住地別の全区分で「住民負担もサービスも標準レベル（全国平均など）をめざすべき」が第1位（40.2～58.7%）であり、住民負担・サービスともに標準レベルを望んでいる。